

指定管理者の期末モニタリング

施設名	宮代町新しい村	年度	令和5年度
指定管理者	株式会社新しい村	担当課	産業観光課
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日	期別	第4期
施設の目的	「農」のあるまちづくりの理念に基づき、農産物及び商工製品の地域内自給及び交流を目指した地域内産業の活性化を図るとともに、農村景観を活かした憩いの場を提供することにより、「農」に対する町民の理解を深め、もって、宮代らしい自立したまちづくりを促進することを目的とする。		
業務の内容	(1) 森の市場「結」(農産物直売所)の運営事業 (2) 森のカフェ(喫茶・軽食)の運営事業 (3) 森の工房(パン・ジャム・総菜)の運営事業 (4) 農の家、村の集会所の事業 (5) 集落農園「結の里」(市民農園)の事業 (6) ハーブ園、果樹園、ほっつけ田、収穫体験圃場の事業 (7) 農業サービス(育苗、農産物の生産販売、乾燥調整)の事業 (8) 施設、設備及び物品の維持管理及び修繕に関する業務 (9) その他施設の目的を達成するために必要な業務		

総合的な評価	
【総合評価】	A優良 0 B適正 14 C改善 0
・施設の設置目的に沿った施設管理及び事業運営がされていた。 ・自然豊かなロケーションと都内からのアクセスの良さが、憩いの場として評価され、近隣市町だけでなく県外からの来客に繋がっていた。	
【評価事項】	・樹木の剪定や草及び芝刈り、老朽化した木製構造物の補修を適正な時期に行っており、園内の良好な景観保持に努めていた。 ・アフターコロナの新規イベントとして株式会社新しい村が主催の「村の収穫祭」を年2回開催したほか、モルックやワークショップイベントの誘致など新たな顧客の取り込みに力を入れていた。 ・自社産農産物を使ったプライベート商品の開発に力を入れていた。
【改善事項】	・農産物及び商業加工品の品揃えの充実と地産地消率の向上 ・農作業を取り入れた婚活事業の参加者確保に向けた改善 ・生産者組合員の生産技術に関する研修会の企画開催

1. 施設の管理運営・事業	評価	B 適正
・事業計画書に基づき適切に管理運営が行われていた。 ・森の市場においては、集荷サポートや、自社生産の農産物の販売により、地場産野菜の確保に努めていた。 ・森のカフェにおいては、ランチプレートやパフェ、ベジ氷など定番商品のリニューアルを行い、売り上げ目標を達成していた。 ・農体験・農園交流事業においては、新たな講師を開拓して料理やハーブ、クラフト、農業体験講座を開催し、集客目標及び売り上げ目標を達成していた。		
2. 利用者の公平確保	評価	B 適正
施設の利用及び料金の徴収については、条例及び規則に基づき適切に実施されていた。		
3. 職員の配置、研修等	評価	B 適正
事業計画書に基づき適正な人員を配置し、運営されている。また、職員研修や職員間のミーティング等を実施し、職員の育成及び待遇改善、情報の共有化等の取り組みが行われていた。		
4. 施設の維持管理業務(清掃、植栽管理など)及び保守点検	評価	B 適正
施設の清掃、樹木・草刈管理、設備の保守点検等、施設の維持管理業務は事業計画書に基づき適切に実施されていた。		

5. 施設の修繕	評価	B 適正
施設の修繕や改修等については、町と指定管理者で協議の上、修繕の実施区分に基づいて修繕を行っており、緊急性や危険度で優先順位を決め、利用者の安全を最優先に適切に実施していた。		
6. 備品管理	評価	B 適正
備品管理台帳において、町と指定管理者の備品が明確に区分されており、適正に管理されていた。耐用年数を過ぎ、不用になった備品は町の手順通りに廃棄していた。		
7. 安全・危機管理	評価	B 適正
事故発生時及び災害時の対応マニュアルを整備し、管理責任者及び防火管理者を配置することで、安全・危機管理に努めていた。		
8. 個人情報の管理	評価	B 適正
町の個人情報保護条例等に準じた内部規定を策定し、これに基づき適正に管理されていた。		
9. 利用者ニーズの把握・反映	評価	B 適正
生産者組合員会議や消費者モニター会議などの生産者や消費者との連携、意見交換の機会を確保していた。		
10. 自主事業の実施	評価	B 適正
自社産特別栽培米を原料とした日本酒やパックライスなど、プライベート商品の開発に力を入れていた。一方で、猛暑、高温の影響により自社生産の農産物が被害を受け、事業計画に定めた自主事業の売上目標を達成することができなかったが、自然災害なのでやむを得ない。		
11. 経費節減	評価	B 適正
デッキの補修など自社施工可能なものはこまめに補修を行い、安全の確保と経費の削減に努めていた。また、緊急時以外の工事や備品の購入等については、複数業者から見積りを取り、安価かつ適正価格での発注に努めていた。		
12. 環境への配慮	評価	B 適正
レジ袋削減のためのマイバッグの推進や残渣から堆肥を作る等環境への配慮に努めていた。また、子ども食堂への廃棄農産物の提供の呼びかけをし、フードロス対策を実施していた。		
13. 利用者への情報提供	評価	B 適正
町広報紙や利用客配布用チラシを毎月作成し、イベント情報等を提供していた。また、ホームページとSNSを活用して、森の市場「結」・森のカフェの商品や新着情報のPR、イベントのPRや講座の募集等の情報発信を行い、利用者の拡大に努めていた。		
14. 会計管理	評価	B 適正
会計管理については、総務経理の担当により適切に実施されていた。また、令和5年10月から始まったインボイス制度に適切に対応していた。		